

「名前を呼んでくださる神」

～主は良い羊飼い～

「ところで、この仕事のためにおまえを名ざして呼んだのはなぜか。わたしのしもべヤコブ、わたしの選んだイスラエルのためだ。おまえがまだわたしを知らない時に、わたしはおまえを名前で呼んだ。わたしは主だ。わたしのほかに神はいない。たといおまえがわたしを知らなくても、わたしはおまえを強くし、どの戦いにも勝利を得させる。世界中の人々に、わたしのほかに神はいないことを思い知らせるのだ。わたしが主だ。わたしのほかに神はいない。」

イザヤ書45章4～6節[リビングバイブル]

現在テレビ放映されているNHK連続テレビ小説「まんぷく」が人気があるということですが、主人公立花福子が支えるのは、発明家の立花萬平。彼の題材となったのは、現日清食品の創業者安藤百福氏。戦中戦後の苦しい時代を高い志を持って乗り越えていった夢の人だ。世界初のインスタントラーメンの「チキンラーメン」(1958年)、そして、それを世界食へと導いた「カップヌードル」は1971年に発売が開始された。今では、それがもととなり、宇宙食としても注目を集めている。

しかし、彼が大切にしたのは、そこで働く仲間たちだった。ドラマの中でも、一人一人の名前を呼び上げて、それに対して涙を流す場面も何度もあった。そういう人物だったのだろう。だからこそ、従業員たちも彼の後を喜びをもってついて行ったのだと思う。

私たちの主は、まず、イスラエルを選び、ご自身の民として旧約時代数千年に渡って導かれました。今もそれは変わりませんが、今では世界の全人類を大切なひとりの御子を下さるという犠牲をはらって、ご自身の民として文字通り命を懸けて愛してくださっています。

そのお方は、「全人類」という風に私たちを見てはおられません。私たち一人一人を大切に切り扱っておられます。そのことを私たちは決して忘れてはいけません。イエス様は全人類の人々のために死なれましたが、全人類のために死なれたのではなく、私たち一人一人のために死んでくださいました。そして、主は私たち一人一人の名前を呼び続けておられるのです。「イスラエルよ」「ヤコブよ」と呼ばれたように、「石井潤よ」と直接名前を呼んで、語りかけてくださるのです。その愛はとても直接的なのです。

主は良い羊飼いです。良いリーダーです。良い導き手です(ヨハネ10)。このお方に信頼する人は決して失望させられることはないのです(ローマ10:11)。

「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがない」お方です(ヘブル13:8)。だから、決して裏切ることはないのです。このお方を信じ、従い続けて行きましょう！そうすれば、私たちの心に絶対的な神の平安が与えられ続けるのです(ヨハネ14:27)！

このクリスマスは私たちを捕らえるために、天から私たちの住む地上へと救い主がやってきてくださった記念の時です。その記念に、明確に神様の愛にお応えになることをお勧めします。救いの契約は差し伸べられた手に、自分の手を差し出すだけで成立するのです。